



おおみや トピックス

市HP内掲載記事へ



年齢	R4.11月末(前月比)
0歳～14歳	1,265人 (-14)
15歳～64歳	5,673人 (+1)
65歳～	3,025人 (-5)
合計	9,963人 (-18)

困難な上り坂でも簡単にピョンピョン飛び越えるうさぎの姿は「飛躍」「向上」を象徴し、卯年は物事が目に見えて大きく成長する年だと言われています。今年も皆様にとって素晴らしい年になりますように！



↑ (左) 善王寺公民館の門松
区長さんや事務員さん、評議員さん達で作られました。山から竹を切り出し、笑顔に見えるように竹を斜めにカットするのが難しいそう。地域の資源が活用されるのはいいですね。

(右) 住民さんが書かれた新年のご挨拶。
新しい年に気持ちがいちゃんとします。



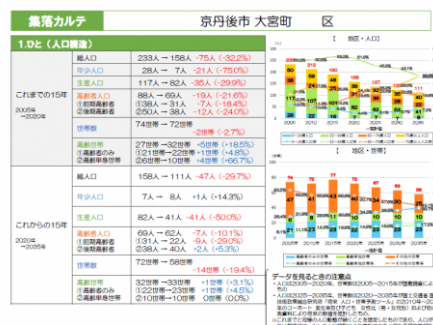
2023年も
よろしく

お願い致します



農村コミュニティ再構築事業の ワークショップが開催されました

今年度、京都府の事業である農村コミュニティ再構築事業が大宮南小学校区内の希望される区(奥大野区、上常吉区、三重区、森本区、谷内区)で実施されています。この事業は自治会等が地域の担い手不足に対応したコミュニティづくりを行うことへの支援を目的としたもので、これまで、地域の将来人口や共同作業、役の数や時間をまとめた「集落カルテ」の作成、それを基にした合同ワークショップ(3回)が行われてきました。



3回の合同ワークショップは下記の流れで行われました。

- 第1回: 今の地域活動の全体像を確認しよう
- 第2回: 今のうちから「見直したいこと」「話し合い、変えていくこと」を考えよう
- 第3回: 共同作業の見直しを具体的に考えよう

ワークショップには各区の役員さんや団体の方等が来られ、地区のいろんな活動について活発な議論がされていました。今後はワークショップで議論された内容を基に、各区で引き続き議論が進められていく予定です。※昨年度には同取り組みを五十河地域でも行ってあります。

↑ 集落カルテの例

小町の里生産組合の出前講座

三重・森本地区の農家さんから構成される「小町の里生産組合」が大宮南小学校の5年生の授業にて、安心安全なお米作りのお話をされました。

五十河のブナ林から流れる水と広葉樹のエキスが流れ込んだ真砂土（風化した花崗岩）、そして昼夜の寒暖差が美味しいお米ができる環境だそうです。「森本のお米は全国的に何番ですか?」「美味しさは100点中何点ですか?」という質問に対し、「1番!」「100点!」との答えに子どもたちから拍手や称賛の声が上がり、自分の住む地域のことを知る良い機会になったようでした。



第6回ひな人形展が開催されます



【展示期間】2月5日(日)~3月5日(日) (水曜休館)

小町公園内「小町の舎」9:30~15:30

【募集期間】1月23日(月)~1月31日(火)

- ①「小町の舎」9:30~15:30 (休館日除く)
- ②「市商工会大宮支所」平日9~17時



五十河区にある小町公園内「小町の舎」にてひな人形展が開催されます。毎年地元の方々がひな人形を一体ずつ丁寧に展示され、施設一面がひな人形で覆いつくされる様子は圧巻です。ぜひ期間内に訪れてみてはいかがでしょうか。引き取られたひな人形は展示後、地元の方々によってお寺で丁寧に供養されます。またそれに先立ち、小町の舎と京丹後市商工会大宮支所にて、役目を終えて使用しなくなったひな人形の募集もされておられます。



大宮町
地域おこし協力隊
タニムラエリの

研修報告

あけましておめでとうございます! 2023年は協力隊の活動も2~3年目なので、ミッションである空き家活用に向けて、もう少し具体的に動いていきたいと思えます。

空き家対策や移住促進をされている地域の研修として、神奈川県真鶴町と静岡県森町に行きました。

初日は、宿泊と出版を合わせることで、地域の魅力を広く具体的に伝えている「真鶴出版」や、子育てママさんたちが行政とタッグを組んで空き家バンクの運営をされている「真鶴未来塾」を訪問しました。空き家や移住の担当職員さんの話も聴け、真鶴町全体の地域づくりがとても勉強になりました。

その後森町では、元地域おこし協力隊で移住コーディネーターがされているゲストハウス「森と町」に宿泊し、他のエリアで活動されている現役協力隊とも交流しました。プロに教わりながら石垣作りや土間打ちをしたり、元店舗をリノベーションして地域で交流する場を作ったり、空き家を自分たちの手で活用していく活動をされていて、とても興味深かったです。

どちらの町も、地域・移住者・行政が混ざり合い、それぞれの強みを活かした町づくりにチャレンジされているのが印象的でした。この経験を元に、今後の自身の活動にも繋げていきたいと思えます。



空き家をリノベされた真鶴出版のお店兼コミュニティスペース



案内なしではたどり着けない真鶴町の絶景ポイント



森町の協力隊と初対面でも仲良くなれました



ワークショップ形式で作られた石垣、本格的!

タニムラの
編集後記

昨年に比べると雪があまり降らず、ありがたいような物足りないような・・・。
新しい一年心新たに日々を大切に過ごしたいですね。
おおみやトピックスに載せてほしいことやご感想・ご質問があれば、
大宮市民局69-0712 (担当: 谷村) にお気軽にお問合せ下さい!

